



# 月の輪 神事

## 伝統を守り次世代へ



8月14日から4日間にわたって行われた月の輪神事。月の輪神事は出雲国風土記の伝承に由来し、かたりのおみいまる語臣猪麻呂の娘の慰霊と疫病退散祈願のために行われています。

神事では新町、西御幸、大市場、八幡町の4自治会がそれぞれの町内と安来港までの道のりを練り歩きました。行列は引き手、山車、はし囃子連からの構成。山車についた鑿どと呼ばれる太鼓に似た楽器が打ち鳴らされるのにあわせ、笛が吹かれました。息の合った囃子は町内ごとに重ねられた練習のためものです。こうして次の世代へと文化・伝統が継承されていきます。

14日には月の輪まつり花火大会も行われました。3年ぶりの花火大会は規模を縮小しつつも多くの人が訪れ、安来港を彩る花火を楽しみました。

